

付録 1 . アンケート調査用紙

1. 医療機関、臨床研修実習医療機関、小児専門施設を対象としたアンケート調査用紙

医療機関名： _____
 回答者： _____
 連絡先：E-mail： _____ 電話： _____ 内線 _____

「内服薬処方せん記載方法の在り方に関する検討会報告書」に関するアンケート

1. 貴施設の概況について伺います

- 1 医療機関名 ()
- 2 所在地 () 都・道・府・県
- 3 開設者 (※○は1つのみ)
 1. 国 2. 公約 3. 社会保険関係団体 4. 医療法人
 5. 個人 6. その他の法人
- 4 承認等の状況 (※あてはまる番号すべてに○)
 1. 高度救命救急センター 2. 救命救急センター
 3. 災害拠点病院 4. へき地医療拠点病院
 5. 総合周産期母子医療センター 6. 地域周産期母子医療センター
 7. 小児救命医療拠点病院 8. 特定機能病院
 9. 地域医療支援病院 10. エイズ拠点病院
 11. 専門病院(主として慢性腎臓病、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生(支)局長に届け出たもの)
 12. DPC対象病院 13. DPC準置病院
 14. 上記のいずれも該当しない

5 医療機関(教育機関)に該当しますか

1. 医療機関である 2. 医療機関ではない

6 臨床研修指定病院に該当しますか

1. 臨床研修指定病院である 2. 臨床研修指定病院ではない

7 許可病床数(平成28年1月1日現在)

病院全体 (床)

8 外来患者に対する1日の平均処方箋枚数(平成27年10月平均) (枚)

9 処方箋発行率(平成27年10月平均) (%)

10 処方せんを発行する機能を有する情報システムの導入状況

1. 電子カルテシステム 2. オーダリングシステム 3. レセコン 4. なし

11 情報システムのベンダーについて

(1) システムベンダーはどこですか(五十音順)

1. オルカ(OOLCA) 2. 亀田医療情報
 3. シーエスアイ 4. ソフトウェア・サービス
 5. ソフトマックス 6. 東芝メディカルシステムズ
 7. 日本アイ・ピー・エム 8. 日本電気(NEC)
 9. 日立メデイコ 10. 富士通
 11. ワイズマン 12. その他 ()

(2) システム名、バージョンなど

()

(3) 現在稼働しているシステムの導入時期 (平成 年 月)

12 平成22年1月に出版された「内服薬処方せん記載方法の在り方に関する検討会報告書」をご存じですか

1. 知っている 2. 知らない

11 貴院での報告書の周知について伺います

問1:「内服薬処方せん記載方法の在り方に関する検討会報告書」に基づく処方箋の書き方に関して職員に講義などの周知活動を行いましたか(複数回答可)

1. 講義を行った(→問2以降へ)
 2. 報告書を回覧した(→問3以降へ)
 3. 行っていない(→問6へ)
 4. その他 ()

問2:講義をした対象は(複数回答可)

1. 医師 2. 薬剤師 3. 薬剤師 4. 看護師
 5. その他の医療スタッフ 6. 事務職員 7. その他 ()

1. 医療機関、臨床研修実施医療機関、小児専門施設を対象としたアンケート調査用紙

問 3: 報告書の回覧先は (複数回答可)

1. 薬局 2. 薬剤部門 3. 看護部門 4. 臨床検査部門 5. 放射線部門
6. 採血部門 7. その他の診療技術部門 8. 事務部門
9. その他 ()

問 4: どのようなタイミングで周知活動を行いましたか (複数回答可)

1. 新人職員へのオリエンテーション時
2. 中絶採用職員のオリエンテーション時
3. 研修医のオリエンテーション時
4. 医療安全関係の講習会で
5. その他 ()

問 5: 上記の周知活動はどのタイミングで実施しましたか

- (複数回答している場合は、その回数分お答えください)
1. 報告書が出された年のみ実施
2. 報告書が出された年以降毎年実施
3. 報告書が出された年以降複数回実施 (回)
4. その他 ()

問 6: 問1で「行っていない」と回答された施設に伺います。
行っていない理由を以下からお選び下さい (複数回答可)

1. 報告書が出たことを知らなかったから
2. 全ての医療機関を対象としているかどうか不明だから
3. 報告書に拘束力があるかどうか不明だから
4. 報告書には実施する期限が定められていないから
5. システムリリース時に実施すればよいから
6. 現状はシステム対応ができていないため、現場が混乱するから
7. 全ての職員が知る必要はないと考えるから
8. 不明
9. その他 ()

問 7: 1回目と1日量の併記は現行の保険料の通知 (*) で要求されていることをご存じですか

1. 知っている
2. 知らない
3. その他 ()

*形保料請求書等の記載要領等について (昭和51年3月7日保険料第2号保険料率改定通知)

- 7 「処方」欄について
(2) 分量は、内服薬については1日分量、内服薬用注射剤、注射薬及び外用薬については投与総量、電投薬については1回分量を記載すること
(3) 用法及び用量は、1回当たりの服用 (使用) 量、1日当たり服用 (使用) 回数及び服用 (使用) 時点 (毎食後、毎食前、就寝前、疼痛時、OC時毎等)、投与日数 (回数) 並びに服用 (使用) に際しての留意事項等を記載すること

問 8: 内服薬について処方せんの記載 (印刷) はどのようになっていますか

1. 従来通り1日量のみ記載である (問9、問10を回答して下さい)
2. 1回目と1日量を併記している (問13以降を回答して下さい)
3. 1回量のみ記載している (問17を回答して下さい)
4. その他 ()

問 9: 1日量の記載のみの理由を伺います

1. 報告書を知らなかったから
2. 併記については短期的方策であるが、期間が示されていないので
3. システム対応ができていないから
4. ルールの存在を知らなかった
5. その他 ()

問 10: 1回目と1日量を併記する予定はありますか

1. 予定している (問11、問17を回答して下さい)
2. 予定はない (問12、問17を回答して下さい)
3. その他 ()

問 11: 1回目と1日量を併記する予定の時期について伺います

1. システム新導入時 (平成 年の予定)
2. システムリリース時 (平成 年の予定)
3. その他 ()

1. 医療機関、臨床研修施設医療機関、小児専門施設を対象としたアンケート調査用紙

問 12 予定がない理由を伺います (複数回答可) (問 17 へ)

1. 予書お返事方せんだから
2. システム改造に費用がかかるから
3. 周りの医療機関も実施していないから
4. 電子カルテシステムへの改修に疑問や不安があるため
5. エラーが増加しないか不安なため
6. 問い合わせが増えると思うから
7. 周辺薬局への追加が必要のため
8. 院内が混雑するから
9. その他 ()

問 13: 1回量と1日量の併記のしかたを伺います (下記例で1回量と1日量の順は問いません)

1. 1回量 1日量
2. (1回量) 1日量
3. 1回量 (1日量)
4. その他 ()

問 14: 1日1回服用の内服薬の場合の併記のしかたを伺います

1. 問13と同じ記載方法
2. 1日1回の場合には併記しない
3. その他 ()

問 15: 1回量と1日量を併記したメリットについて伺います (複数回答可)

1. 量の間違いが減少した
2. 確認しやすくなった
3. 計算をしなくてよくなった
4. その他 ()

問 16: 1回量と1日量を併記することのデメリットについて伺います (複数回答可)

1. 1行が長くなり見づらくなった
2. 1日1回の内服薬の場合には併記しない方がよい
3. 数字が混在するので間違い多い
4. その他 ()

問 17: 報告書の内容についてのご意見があれば記載して下さい

IV 単味の散剤の場合について伺います

問 18: 基本的な表記方法について伺います

1. 製剤名 (薬名標準記載名、一般名結方名) を記載して製剤量を記載している
2. 製剤名 (薬名標準記載名、一般名結方名) を記載して原薬量を記載している
3. 原薬名 (成分名) を記載して原薬量を記載している
4. その他 ()

問 19: 散剤の分量の表記方法について伺います

1. 全て製剤量で記載している
2. 全て原薬量で記載している
3. 医薬品によって製剤量の場合と原薬量の場合とが混在している
4. その他 ()

問 20: 分量の単位についての表記方法について伺います

1. g のみの表記である
2. mg のみの表記である
3. 製剤量の場合はg、原薬量 (成分量) の場合はmgで表記している
4. その他 ()

問 21: 原薬量で表記している場合の補助記載について伺います

1. (原薬量) というように原薬量であることを明記している
2. 分量がmgで記載されているから (原薬量) という補助記載はしていない
3. その他 ()

問 22: 賦形を行った場合にその情報を前部門に知らせていますか

1. 賦形については特に情報提供していない
2. 賦形した場合には賦形した結果の量 (例: 1名の重量) を記載している
3. 賦形をした場合には賦形用の量のみを記載している
4. その他 ()

問 23: 散剤の記載方法についてのご意見があれば記載して下さい

1. 医療機関、臨床研修実施施設機関、小児専門施設を対象としたアンケート調査用紙

V. 単位の種類の場合について伺います

問 24：基本的な表記方法についてうかがいます

1. 製剤名（漢語部洋字転写、一般名処方名）を記載して製剤量を記載している
2. 製剤名（漢語部洋字転写、一般名処方名）を記載して原薬量を記載している
3. 原薬名（成分名）を記載して原薬量を記載している
4. その他（ ）

問 25：液剤の分量の表記方法について伺います

1. 全て製剤量で記載している
2. 全て原薬量で記載している
3. 医薬品によって製剤量の場合と原薬量の場合とが混在している
4. その他（ ）

問 26：分量の単位についての表記方法について伺います

1. mL のみの表記である
2. mg のみの表記である
3. 製剤量の場合はmL、原薬量（成分量）の場合はmgで表記している
4. その他（ ）

問 27：原薬量で表記している場合の補記記載について伺います

1. (原薬量) というように原薬量であることを明記している
2. 分量がmgで記載されているから(原薬量) という補記記載はしていない
3. その他（ ）

問 28：錠形を行った場合にその情報を他部門に知らせていますか

1. 錠形については特に情報提供していない
2. 錠形した場合に成形した結果の量（例：1回分の量）を記載している
3. 錠形をした場合には錠形剤の量のみを記載している
4. その他（ ）

問 29：液剤の記載方法についてご意見があれば記載して下さい

VI. 一般名処方について

問 30：一般名処方に関する処方せん記載について伺います

1. 一般名処方を行っている（問 32へ）
2. 一般名処方は一部行っている
3. 一般名処方を全面的に行っている
4. その他

問 31：一般名処方の処方入力方法について伺います

1. 英数字で選択を行い、印字は一般名となっている
2. 一般名で選択を行っている
3. その他

1. 医療機関、臨床研修医臨床医機関、小児専門施設を対象としたアンケート調査用紙

VII 特殊な用法の医薬品の処方せん記載について伺います

問 32: リウマトレックス（後発品を含む）に関する処方せん記載について伺います

1. リウマトレックス（後発品を含む）は取り扱っていない
2. 通常の医薬品の場合の入力方法同様で特に区別していない
3. 服用する日付けを指定して入力する方法である
4. 服用する曜日指定して入力する方法である
5. セット入力画面が用意されている
6. その他

問 33: ラミクタール錠に関する処方せん記載について伺います

1. ラミクタール錠は取り扱っていない
2. 通常の医薬品の場合の入力方法同様で特に区別していない
3. セット入力画面が用意されている
4. その他

問 34: ラミクタール錠小児用に関する処方せん記載について伺います

1. ラミクタール錠小児用は取り扱っていない
2. 通常の医薬品の場合の入力方法同様で特に区別していない
3. セット入力画面が用意されている
4. その他

問 35: ザファテック錠に関する処方せん記載について伺います

1. ザファテック錠は取り扱っていない
2. 通常の医薬品の場合の入力方法同様で特に区別していない
3. 服用する曜日指定して入力する方法である
4. セット入力画面が用意されている
5. その他

問 36: 今回調査承認されたプラケニル錠は「服用量が45g以上65g未満の場合、

1日1回1錠（200mg）と1日1回2錠（400mg）を1日おきに経口投与する

とされています。このように投与量が1錠と2錠と交互に変化するような投与方法

の医薬品の処方せん記載について伺います

1. 交互に投与するような例は特に記載していない
2. 1pを分けて交互に服用するように指示をする
3. セット入力画面が用意されている
4. その他